

すなおで元気な長与っ子を育むために
～町民の共通の思いにしましょう～

家庭教育 10か条

第3条 学力の定着

古き日本の伝統行事には、新年は「書き初め」で、めでたい詩句や新年の抱負・目標を書き、1年の成長や充実を誓い、七夕では、五色の短冊に歌や字句を書き、書道や裁縫の上達を祈るというものがあります。

受験を目前にした受験生諸君も、きっと机の前に目標や自己を叱咤激励する字句を掲げ、くじけそうになる自分を励ましたり戒めたりしていることでしょう。

学力というものは、決して一日にして身に付くものではありません。「継続は力なり」とか「ローマは一日にして成らず」とか、昔から繰り返言われてきた言葉もそれを表しています。目標達成を願う気持ちを日々新たに、怠る気持ちを戒めるために、目標や激励の言葉を目に付くところに掲げるのだと思います。

たゆまざる 歩みおそろし 蝸牛

これは、長崎県が世界に誇る彫刻家 北村西望氏の座右の銘です。北村氏は、長崎の平和祈念像を制作した人ですが、ある朝、その制作現場に行ってみると、足下に一匹の蝸牛がいたそうです。夕方もう一度像の前に行ったとき、何気なくあの蝸牛を探してみたところ、9メートルもの像のてっぺんにいたそうです。以来、北村氏は、蝸牛を“人生の師”と思い定め、日々

の努力の積み重ねを大切にするとともに、長生きにも努め、102歳まで制作を続けたのだそうです。日々の努力を積み上げることの大切さ・偉大さを教えてくれるお話です。

初めにもふれたように、まずは具体的な目標とその実現を目指す意志をしっかりと持つことが大切です。その意志が本物なら、積み上げられる努力もたゆみないものになるはずですし、目標は必ず達成されることでしょう。かりに何かの支障で達成できなくとも、その努力は人生を支える大切な宝物となるはずです。

学習への集中をそがれないようにするためには、次のことを心がけてみるといいでしょう。

毎日、整った学習環境の中で

- ・決めた時刻に
- ・決めた場所で
- ・決めた（計画した）内容を最後まで、必ずやり遂げる。

家族の協力と見守りも大切です。例えば、子どもが小さな時から食後のひとときや休日に、親子で読書をしながら過ごす“家読”を習慣化しておけば、きっと子どもの学習習慣にも効果的につながるでしょう。

第3条 学力の定着

まいにち つくえ、せ
毎日、机に向かう
習慣を



家庭学習は誰かな学力を身につけ、読書は豊かな心を育てます。